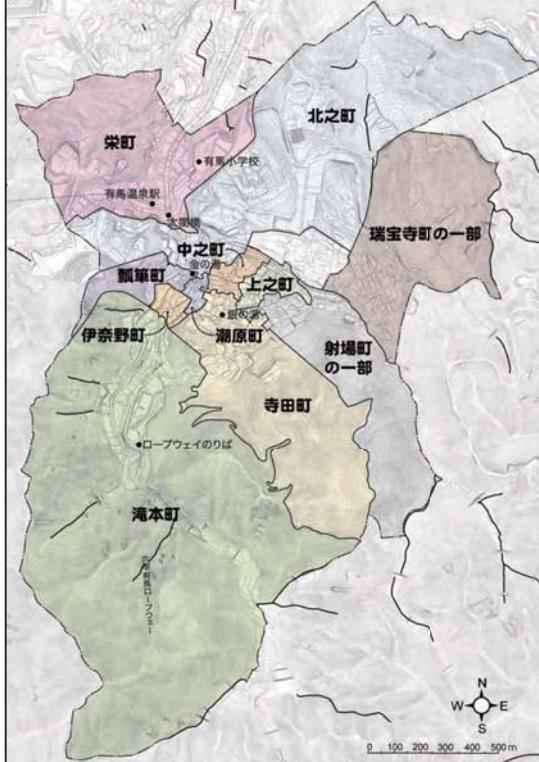


有馬地区景観形成市民協定まちなみ基準

-共通基準-



区分	協定事項
建築物の意匠・色彩	派手な色は避け落ち着いたまちなみが形成されるように努める。
門・塀等	通りに面して設置する塀や生け垣は、道行く人に強い印象を与えるため冷たい雰囲気を与えるコンクリートブロック塀やフェンスの設置を止め周囲のまちなみと調和したものになるよう努める。
歴史的建造物	歴史的建造物の活用を図り、新築・改築する場合においても、歴史的要素を取り入れ有馬の景観を壊さないように努める。
緑化等	緑ができるだけ多く取り入れ防災性の向上を図るように努める。又、隣同士で生け垣を抑えたり素材を抑えたり、美しいまちなみになるよう工夫する。また、可能な限り樹木等の伐採は避ける。
看板等	看板や文字の大きさ等周辺環境に配慮する。また、点滅する看板照明は使用しないよう努める。のぼり等を使用する際は、メンテナンスに気を配り、放置しないよう努める。
延焼防止	防災性向上のため、隣地境界に接する部分は延焼防止に努める。
河川からの見え方	河川に面する部分の建築物、外構等は、河川及び対岸からの見え方に配慮する。

看板 看板や文字の大きさ等は周辺環境に配慮しましょう。また、点滅する看板照明は使用しないよう努めましょう。のぼり等を使用する際は、メンテナンスに気を配り、放置しないよう努めましょう。

門・塀 門・塀、生け垣等は、まちなみ配慮したものとしましょう。

歴史的要素 歴史的建造物の活用を図り、新しい建築物も歴史的要素を取り入れましょう。

緑化 樹木など緑を積極的に取り入れましょう。

A 1階の庇、軒を抑えましょう。また、壁面を抑え、まちなみの連続性に配慮しましょう。

B 原色の鐵板や洋瓦の使用は避け、勾配屋根としましょう。

C 閉店後も、サイドショッピングができるたり、夜のまちなみ歴史性を感じる暖かい演出をしましょう。

D 門灯などで明るく安全な通りを！

A B C D 設備は通りから見えない位置に設置するか、可能な限り自然素材で装う工夫をしましょう。

A B C D 駐車場や車庫の出入口は、まちなみの連続性に配慮したものとしましょう。

A B 看板は歴史を感じられる意匠とするよう努めましょう。

A 木材など自然素材を使用しましょう。

A B 開口部を伝統的な装いにしましょう。

C 格子など伝統的な装いにしましょう。

A B C D 奇抜な外壁の意匠は避けるようにしましょう！

-景観形成道路沿い基準-

看板 看板や文字の大きさ等は周辺環境に配慮しましょう。また、点滅する看板照明は使用しないよう努めましょう。のぼり等を使用する際は、メンテナンスに気を配り、放置しないよう努めましょう。

門・塀 門・塀、生け垣等は、まちなみ配慮したものとしましょう。

緑化 樹木を取り入れることにより景観も良くなり、防災性も向上します。

協定事項

区分	協定事項
道路ごとの考え方	歴史的まちなみを継承しつつ、活力のある商業空間を育む。有馬らしさを表現しつつ、活力のある商業空間を育む。
高さ・屋根	一階の庇・軒を抑えることによって、まちなみ全体と一緒に感が生まれるように努める。有馬らしい落ち着いた雰囲気を醸し出すため、原色の鐵板や洋瓦の使用を避け勾配屋根とし、まちなみの連続感が損なわれないように努める。
建物	勾配屋根と同じ高さに設けられた一階の庇・軒が通りに連続感を与えるように努める。
意匠・色彩	建築物の開口部を伝統的な装いとし、歴史を感じさせ落ち着いた雰囲気をつくるように努める。奇抜な意匠は避け、外壁などで使用する材料は自然素材を基調とする。
壁面の位置	壁面を抑える等、街並みの連続性に配慮する。
駐車場	駐車場が大きすぎると周囲の環境が損なわれてしまうため、駐車場の規模は小さくし、さらに、外から自動車が見えないように塀・植栽等で囲むなどまちなみと調和した物で装い、まちなみ自動車を露出させないように努める。
設備等	設備等は通りから見えないように設置するか、可能な限り自然素材で使う等の工夫をするように努める。
夜間景観	店舗は店を開めた場合にもウインドウショッピングができるようにしておいたり、夜のまちなみには歴史性を感じさせる暖かみのある灯で演出してみなど工夫する。
看板	歴史性を感じられる意匠とするよう努める。
自動販売機	設置する場合は、色彩・素材・形状は周辺環境に配慮するように工夫する。